



ご近所とのおすそ分けやラジオ体操、グラウンドゴルフなどの仲間は、地域の皆さんにとって当たり前の営みです。こうしたつながりは、お互いを気遣い、介護サービスに頼らず自宅で暮らし続けるための重要な鍵となります。「つながる通信」ではそういったささえ合いを「お宝」として、発信していきます。

取材先

◇ 太田地区 **西本町ひまわりクラブ**

今回は、太田支え合いネットワークのメンバーである倉上昭男さんの紹介で、西藤中央公園で行われている「西本町ひまわりクラブ」を取材しました。

このクラブは平成13年4月に発足し、来年で20周年を迎えます。活動日は毎週月、水、木、金曜日と週4回、午前9時から10時半ごろまで地域の皆さんでグラウンドゴルフを楽しんでいます。このコロナ禍の中でも感染症予防の対策を取りながら、参加する前に必ず検温、記名をし、マスク、消毒をしていました。

はじめに部長さんからの挨拶があり、ラジオ体操を行った後、各グループに分かれてグラウンドゴルフが始まります。当日はホールインワン賞ということで、皆さんでお菓子などを持ち寄り、ホールインワンが出た人はそれがもらえるということで、張り切ってプレーされていました。



地域のお宝発見～日頃の交流が支え合い活動～ 太田市生活支援体制整備事業

小林三次さん(88才)



西本町ひまわりクラブ設立の発起人のひとり。設立の目的としては、町民の健康増進と親睦交流を図るためとしていて、会員同士の交流を深めるための親睦交流大会や、忘年会など会員の皆さんと一緒に楽しんでいる。

<元気の秘訣>

早寝早起き、暴飲暴食はしない、練習に休まず参加していることや、地域の為に多方面で活動していること。

会員の中では最高齢者で、クラブ5代目の部長を務めている澤本さん。今年の3月に家族からの助言もあって、自動車運転免許を返納してからは、主な移動手段は電動アシスト自転車。

8年前に奥様を亡くされてからは、娘夫婦と二世帯暮らしで、グラウンドゴルフをする時は奥様が愛用していたクラブを使っている。

<元気の秘訣>

週に4回のグラウンドゴルフに通うことで、ここで町内の人たちと会って、心を許し合い、会話を楽しむことができるので、ストレスは一切ないと話してくれました。

澤本速水さん(91才)



地域と民間企業のつながり方

西藤中央公園前にある「ぐんかんアモート太田」では、以前から会社の方針として地域貢献を掲げており、地域の区長さんに相談して、まずは公園で行われているグラウンドゴルフから関わってみようということで職員の金谷さんも会員になり、皆さんが飲むお茶をジャグタンクに用意することから始めています。

このクラブには91才の澤本さんをはじめ、元気なお年寄りのお手本になる方がたくさんいます。これからも西本町に根付いた「お宝」につながるクラブとして続いて行って欲しいです。

チェックポイント

- ・ 町内のお年寄りたちが、元気に交流できる集いの場
- ・ 民間企業と関わりを持つことで、より活動を豊かにできる

◇『つながる通信』は太田市社会福祉協議会のホームページ <https://otashakyo.jp/> に掲載しております

お問合せ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係

〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549

電話 0276-30-0033 FAX 0276-30-0032